



所在地 新潟県長岡市学校町三丁目9番5号
 代表者名 小森 幸子
 電話番号 0258-32-2948
 F A X 0258-30-5539
 U R L <http://www.hanabi-chuetsu.co.jp/>
 E - m a i l komori@hanabi-chuetsu.co.jp
 設立年月日 昭和38年2月4日
 資本金額 4,000万円
 従業員数 7人
 業 種 印刷業
 得意分野等 チラシ、冊子、グッズ企画・制作

テーマ

より広い色域を再現し鮮やかな仕上がりの 高付加価値印刷技術の確立

目的

デジタルメディア等で再現している色と印刷物の色の差をなくし、臨場感ある鮮やかな印刷物を広色域インキ（カレイド）で印刷する技術と鮮やかな印刷物を事前（校正時）に確認できる印刷体制を構築したい。

事業の内容

■事業取組みの経緯

主要顧客から、より訴求力の高い臨場感あふれる鮮やかな長岡花火カレンダーやオフィシャルガイドブック・パンフレットの印刷物が求められていると共に、印刷結果を確認するのに実際の印刷並の品質と時間短縮で安価な校正の要求が高まっている。

4色オフセット印刷機で7色・8色印刷に近い印刷を再現する高付加価値印刷技術を確立し、顧客に提供するため、印刷シミュレーション用の設備を導入する。高付加価値印刷の品質を事前に確認可能とすることにより、顧客の安心・納得を取り付けて、受注を拡大する。

■実施内容

○具体的な取り組み内容

1. システムの導入・立ち上げ

①設置環境整備：

システムの設置場所・環境等の整備。（作業性を考慮した上でのレイアウト設計。）

②実機導入・立ち上げ：

メーカーの指導受け、主担当者で試運転し機能を取得した。

2. カラーマッチング作業の実施

①広色域インキの印刷物とのカラーマッチング作業：

カラーマッチング用のデータを刷版出力し、印刷機に取り付け実際に印刷しました。

その印刷物を測色して広色域インキの色が再現できるように調整した。

②広色域インキ出力結果の評価：

広色域インキ用に調整した状態でテストチャートを出力し結果を評価した。

色の色差が無くなる位まで再調整し実際の印刷物の色に近づけた。

3. テスト展開

従来の仕事のデータを利用し、実際の印刷物と新システムでのデジタル校正印刷の色がマッチングしているか検証。その他、利点・欠点等を検証し、関係間でノウハウを共有した。

4. 本運用

広色域インキを使用した仕事の校正（ガイドブック、ポスター、カレンダー等）で運用を開始した。

事業の成果

■事業取組みの成果

ワークフロー図 [設備導入後]



本設備投資を実施したことにより、従前の印刷システムにライン接続することでプロファイル作成のカラーマッチングが容易になり、広色域インキを使用した臨場感ある鮮やかな印刷が可能となり社外の関係者より高評価を得、品質が向上できた。

また、当該機械の効果により、初校正の刷版、印刷工程が2工程短縮（4工程→2工程 50%削減）、初校正（色校正紙）の作成時間が300分短縮（320分→20分、93.75%削減）することが可能となり、印刷物を事前に確認する時間が大幅に削減できた。

一方、製造コスト面（初校正と再校正の2回分で積算）では、従来の本機印刷の試刷り不要による人件費及び材料費の合計で94%削減（50,200円→3,000円）することが可能となり、現状の印刷機を使用した時間のかかる校正から、短納期で安価な校正が実現できることとなった。

以上のように当該機械と広色域インキを使用した臨場感ある鮮やかな印刷技術が確立できたと共に、印刷物を事前（校正時）に確認する為の作成時間とコストの大幅削減により、色のデータ修正を複数回繰り返しながら、より鮮やかな印刷物の再現が可能となった。

今後はこの技術力アップを駆使して、花火関連印刷ノウハウを確立し、料理飲食関係の写真メニュー集、レシピ集の分野にも受注の機会の拡大を促進することが可能となった。

上記の通り、本事業目的は計画時予想を上回る効果判定となり、顧客の要請である品質向上、納期短縮、コストダウンに十分対応できた等、他社との競争力は格段と向上した。

■その他（製品等の内容、今後の活動予定、販売計画等）

色彩の鮮やかさを全面的に主張できる印刷物として、飲食店メニューの改定時や大学・専門学校等へは絵本やレシピ集の提案を営業的戦略に考えています。

また、一般消費者向けに地元の長岡花火写真関連（カレンダー、絵葉書、ジグソーパズル等）等々を活用した弊社独自のソースを検討中である。



長岡大花火カレンダー



チャリティうちわ



長岡花火オフォシャルガイドブック